

# 定 期 作 況 報 告

平成27年10月  
(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

# 1. 気象経過

9月下旬：最高気温は平年より高く、最低気温および平均気温はともに平年よりやや高かった。降水量は平年よりやや少なかった（平年比63%）。日照時間は平年並であった（平年比109%）。

10月上旬：最高気温および最低気温はともに平年よりやや低く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より多かった（平年比152%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比127%）。

10月中旬：最高気温は平年よりやや高く、最低気温は平年より低く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より少なかった（平年比12%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比130%）。

以上のことから、この1か月間（9月下旬～10月中旬）は、気温および降水量はともに平年並で、日照時間は平年よりやや多かった。

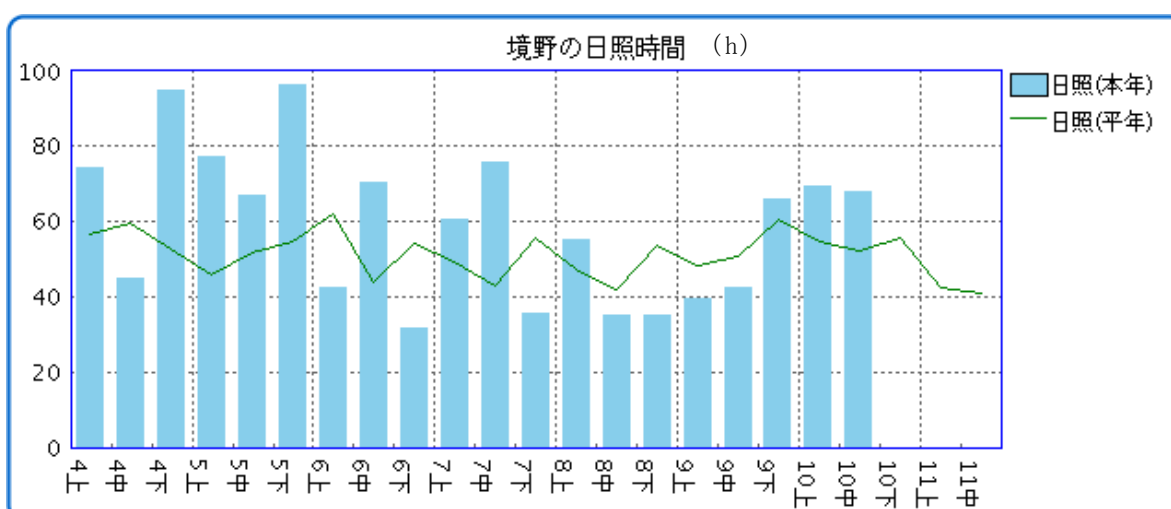
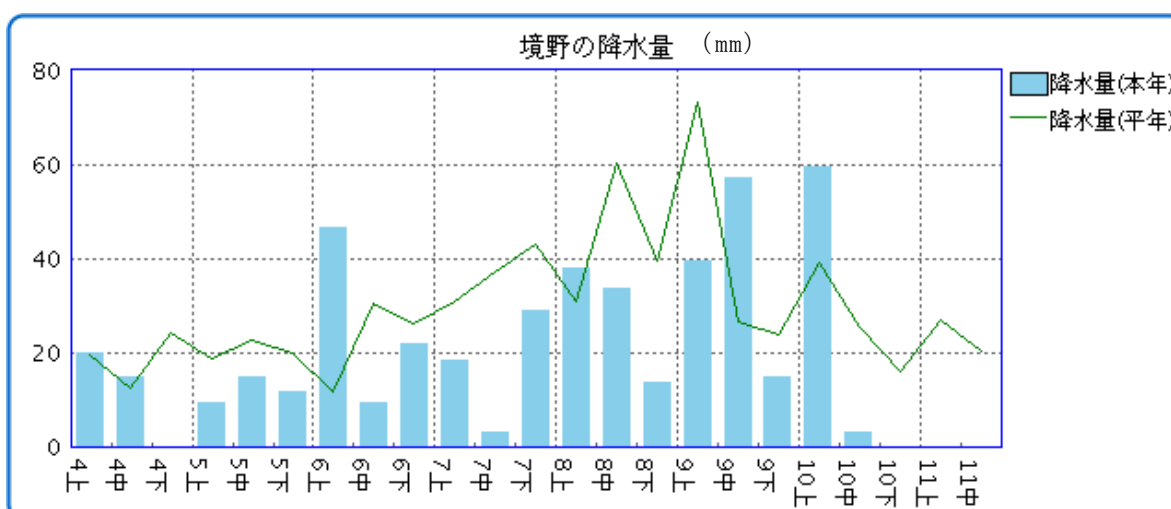
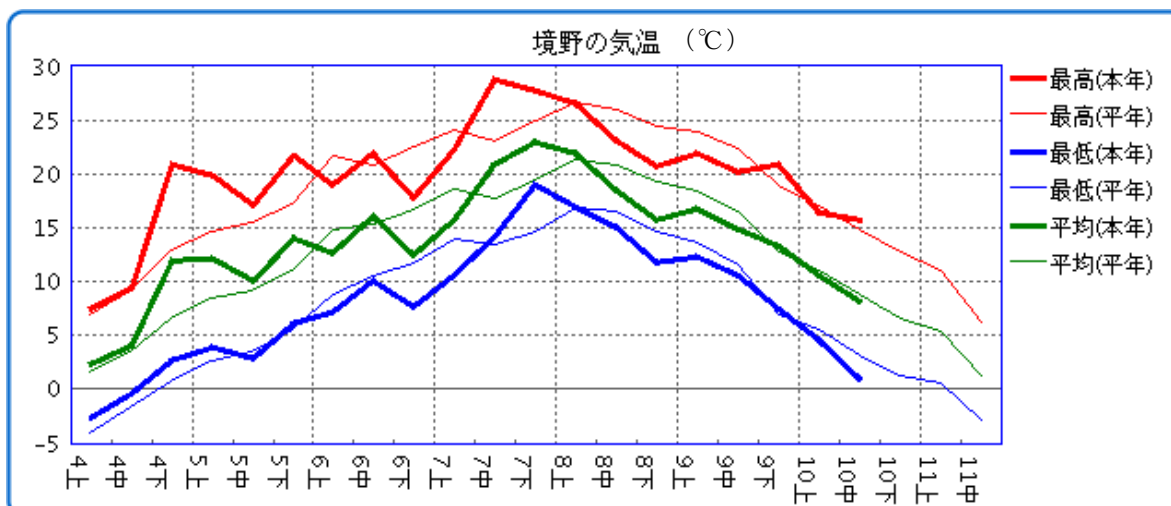
気 象 表

月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
9月 下旬	13.4	12.8	0.6	20.8	19.0	1.8	7.5	6.9	0.6
10月 上旬	10.6	11.0	-0.4	16.4	17.1	-0.7	4.5	5.6	-1.1
10月 中旬	8.2	8.8	-0.6	15.8	14.9	0.9	1.0	3.1	-2.1

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
9月 下旬	15.0	23.7	-8.7	66.1	60.7	5.4
10月 上旬	59.5	39.2	20.3	69.4	54.5	14.9
10月 中旬	3.0	25.3	-22.3	68.0	52.4	15.6

注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。



## 2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

### 1) とうもろこし(サイレージ用)

作 況：やや不良

事 由：収穫期は平年並の9月24日であった。収穫時の稈長は平年並、子実の熟度は黄熟初期と平年並で、総体の乾物率も平年並であった。乾物雌穂重は平年並であったが、乾物茎葉重は平年より少なく、乾物総重ならびに推定TDN収量は、それぞれ平年比93%、95%と平年よりやや少なかった。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
収穫期 (月・日)	9.24	9.24	0
収穫時の熟度	黄熟初期	黄熟初期	-
稈長 (9月20日) (cm)	271	277	△6
生総重(kg/10a)	6337	6699	△362
乾物茎葉重(kg/10a)	847	987	△140
乾物雌穂重(kg/10a)	1008	998	10
乾物総重(kg/10a)	1855	1985	△130
同上平年比(%)	93	100	△7
推定TDN収量(kg/10a)	1350	1423	△73
同上平年比(%)	95	100	△5
総体の乾物率(%)	29.3	29.7	△0.4
乾雌穂重割合(%)	54.4	50.2	4.2
有効雌穂割合(%)	100.0	99.7	0.3

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

## 2) 大豆

作 況 : 不良

事 由 : 成熟期は平年より1日早い9月24日であった。着莢数は平年並で、一莢内粒数は平年より多かったが、百粒重が平年を大きく下回ったため、子実重は平年比81%と低収であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.24	9.25	△ 1
着莢数(個/株) (成熟期)	68.1	68.4	△0.3
一莢内粒数	2.03	1.82	0.21
子実重(kg/10a)	311	384	△ 73
同上平年比 (%)	81	100	△ 19
百粒重 (g)	28.9	38.1	△9.2
屑粒率 (%)	1.0	1.8	△0.8

注1) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

### 3) 小豆

作況：不良

事由：登熟は大きく遅れ、成熟期は「サホロシヨウズ」で16日、「エリモシヨウズ」で22日遅かった。両品種ともに一莢内粒数および百粒重は平年を上回ったが、着莢数は平年を大きく下回った。子実重は「サホロシヨウズ」で平年比93%、「エリモシヨウズ」で平年比89%と低収であった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.30	9.14	16	10.11	9.19	22
着莢数(個/株) (成熟期)	45.2	62.4	△17.2	54.9	61.5	△6.6
一莢内粒数	6.52	5.64	0.88	7.09	6.25	0.84
子実重(kg/10a)	386	415	△29	390	439	△49
同上平年比(%)	93	100	△7	89	100	△11
百粒重(g)	15.9	15.1	0.8	15.1	14.2	0.9
屑粒率(%)	3.5	2.0	1.5	5.5	1.8	3.7

注1) 平年値は前7か年中、平成20年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

#### 4) 菜豆 作況：不良

事由：着莢数は平年を上回ったものの、一莢内粒数と百粒重が平年を大きく下回ったため、子実重は平年比81%と低収であった。なお、成熟期前後の降雨により色流れ粒が発生し、屑粒率は平年より高かった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
着莢数(個/株) (成熟期)	22.5	20.0	2.5
一莢内粒数	2.67	3.05	△0.38
子実重(kg/10a)	290	357	△67
同上平年比(%)	81	100	△19
百粒重(g)	64.9	74.5	△9.6
屑粒率(%)	12.4	6.6	5.8

注1) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重と百粒重は水分15%換算。

#### 5) ばれいしょ 作況：平年並

事由：「コナフブキ」の枯ちょう期は平年より12日早い9月24日であった。上いも重およびでん粉価が平年並であったことから、でん粉重は平年並であった。

以上のことから、前報の「男爵薯」と併せ、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	8.31	9.1	△1	9.24	10.6	△12
上いも数(個/株)	10.6	10.8	△0.2	10.7	10.6	0.1
上いも平均重(g)	95	95	0	103	105	△2
上いも重(kg/10a)	4496	4549	△53	4891	4907	△16
同上平年比(%)	99	100	△1	100	100	0
でん粉価(%)	14.8	14.7	0.1	21.8	22.0	△0.2
でん粉重(kg/10a)	—	—	—	1017	1029	△12
同上平年比(%)	—	—	—	99	100	△1

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

## 6) てんさい

作 況：平年並

事 由：収穫は平年より1日早い10月19日に行った。根重は前報に引き続き平年を下回った。一方、根中糖分は、最低気温が平年より低い傾向であったため順調に上昇し、平年を上回った。これらの結果、糖量は概ね平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ（参考）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
茎葉重 (kg/10a) (10月20日)	4439	5305	△866	4938	5538	△600	4724	4231	493
根重 (kg/10a) (10月20日)	6607	7368	△761	6536	7478	△942	6056	6742	△686
根中糖分 (%) (10月20日)	18.66	17.02	1.64	18.92	17.55	1.37	18.84	17.11	1.73
糖量 (kg/10a) (10月20日)	1233	1249	△16	1236	1307	△71	1140	1153	△13

注1) 平年値は前7か年中、平成26年（最豊）、22年（最凶）を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前5か年の平均。



## 7) 牧草(チモシー)

作況:不良

事由:3番草の収穫は平年より4日早い10月1日に行った。2番草収穫(8月7日)後、8月中旬から9月中旬にかけて気温が平年より低く推移したため、3番草の草丈は平年より4cm低く、乾物収量は平年比83%と平年より少なかった。1~3番草の合計乾物収量は、平年比86%と平年より少なかった。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
刈取日(月.日)	3番草	10.1	10.5	△4
病害罹病程度	3番草	3.5	3.6	△0.1
草丈(cm)	3番草	41	45	△4
生草収量(kg/10a)	3番草	458	615	△157
	1~3番草合計	3441	4233	△792
乾物率(%)	3番草	31.6	28.9	2.7
乾物収量(kg/10a)	3番草	145	174	△29
	1~3番草合計	827	959	△132
同上平年比(%)	3番草	83	100	△17
	1~3番草合計	86	100	△14

注1) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 病害罹病程度は、1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。